

茨城県北沿岸域周辺の鳥類

茨城の海産動物研究会

はじめに

茨城県北沿岸域周辺での野鳥の生息状況については、これまで著者がいくつかの報告をしてきた(山口, 1973, 1992; 山口・鈴木, 1991)。また、冬期に茨城県沿岸に渡来する海鳥については、日本野鳥の会茨城支部が1996年から毎年2月に調査を行っている観察記録を「ひばり」で報告している(池野ほか, 2001, 2002)。今回の調査は、県北沿岸および茨城県北沖(図1)で行った。調査船は舟橋正隆氏の「弘隆丸」および五来靖彦氏の「祥天丸」である。両氏および乗組員の方々に、たいへんお世話になり、この場を借りて深く感謝の意を表したい。

調査範囲および方法

調査範囲は、北茨城市平潟漁港から日立市久慈川河口域までの約40 kmの沿岸域で、2地区(A, B区)に分けて調査コースを設定した(図1)。さらに、一部、那珂川河口域(C区)を定点調査域として、双眼鏡やフィールドスコープ(倍率20倍以上)などを用いて、見晴らしの良い高所から観察した。さらにこの沖合い

での海鳥の調査は、前述した調査船上から行った。

県北海岸の特徴は、洪積世に形成された海岸段丘で、その東端は海食崖になっており、高さ20~30 mの断崖絶壁である。岩石海岸の突端部は、岬になっており、その周辺は、港として立地条件も揃っており、北茨城市の平潟漁港と大津漁港、日立市の川尻漁港、日高漁港、会瀬漁港、河原子漁港、水木漁港、久慈漁港などの港がある。

県北の美しい海岸線と豊かな緑の自然資源が豊富なため、岡倉天心らは、その美しい景観の魅力に惹かれ、日本美術院を創ったことでも知られている。また、長良川の鶴飼で有名な鶴は、十王町伊師浜および日立市川尻沿岸で捕獲されている。

一方、リゾート法(総合保養地域整備法)の適用を受けた五浦や高萩などは、海水浴場の設置に伴い、長さ数百メートルにおよぶ消波材(テトラポッド)が海岸に投入されたことで、カモメ、ウミウ、シギ、チドリなどの海鳥たちの良き休憩場所となっている。

北関東の玄関口といわれる日立港は、1967年6月に開港し、現在も港の拡張工事が進んでいる。さらに、水戸射爆場跡地は、「国営ひたち海浜公園」と「火力発電所」などが造成され、県北の海岸線は、だいぶ変容した。このように海岸線の大きな変化は、季節ごとに移動する鳥へ大きな影響を与えているように思われる。

調査コースおよび主な調査地点

1. Aコース

平潟漁港~長浜, 五浦展望台, 大津漁港, ニツ島, 天妃山, 大北川河口, 塩田橋, 高戸, 高萩海岸など10カ所を選んで定点調査地とした。このコースは、平潟漁港~長浜にかけてアビ科, カイツブリ科, ウ科, カモ科, カモメ科などの出現が多い所である。

塩田橋~小野矢指にかけて急激に深度が増し、テトラポッドが多く敷かれているが、ここは海鳥の観察の適地と言いつても、多くの鳥が見られる。

2. Bコース

十王町伊師浜, 日立市小貝浜, 川尻漁港, 裸島, 宮田川河口, 会瀬漁港, 河原子漁港, 茂宮川河口, 日立

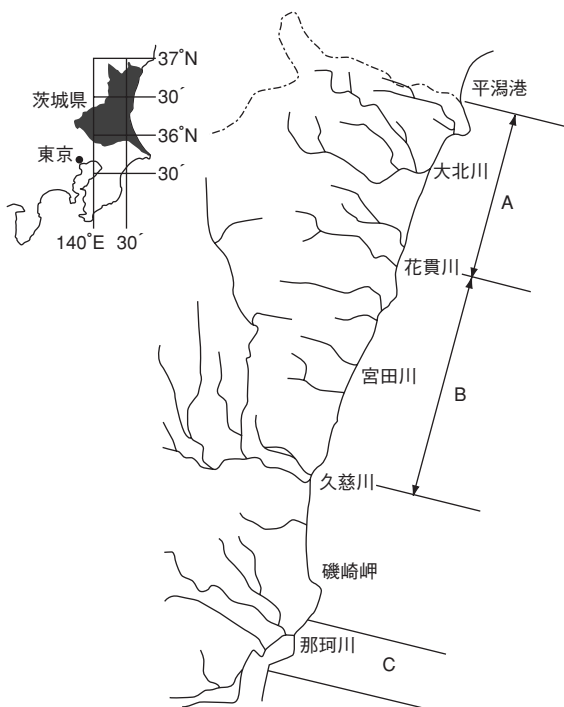


図1. 冬の海鳥調査の調査区。

港第五埠頭，久慈川河口周辺など 10 カ所を定点調査地とした。特に小貝浜は，断崖絶壁の地形であり，ウミウの渡来地としても知られているが，ここは，ハヤブサやチョウゲンボウなどの貴重な繁殖地でもある。この B コースは，冬期はどここの調査地点でも冬鳥が見られる楽しめる所である。2001 年 3 月 19 日は，日立市沖約 30～40 km の地点で数千頭のオットセイのハーレムを確認した。

3. C コース

那珂川河口域周辺は，カモメやウミウなどが大群で羽を休める那珂港漁港周辺と，その沖合いの一部を定点調査地とした。

調査日

本調査は，2000 年 4 月 29 日～2003 年 2 月 20 日の間に 29 回実施した。

2000 年度は，2000 年 4 月 29 日 (A コース)，5 月 29 日 (B コース)，7 月 2 日 (A コース)，8 月 6 日 (C コース)，2001 年 2 月 10 日 (A, B)，2 月 11 日 (C)，3 月 19 日 (さくら丸で日立および那珂湊沖を調査)。

2001 年度は，2001 年 5 月 3 日 (A)，5 月 4 日 (A, B)，5 月 5 日 (弘隆丸で日立沖を調査)，5 月 27 日 (B)，9 月 2 日 (B)，2002 年 1 月 4 日 (A, B)，1 月 5 日 (A)，2 月 1 日 (A)，2 月 2 日 (A)，2 月 16 日 (A, B)，2 月 17 日 (C)。

2002 年度は，2002 年 5 月 5 日 (C)，5 月 6 日 (A, B)，5 月 18 日 (A)，6 月 28 日 (祥天丸に同乗，日立沖)，7 月 14 日 (A)，7 月 15 日 (B, C)，12 月 21 日 (祥天丸で日立沖を調査)，2003 年 1 月 11 日 (A)，1 月 16 日 (C)，2 月 20 日 (A, B)，2 月 21 日 (C)。

結果および考察

今回の現地調査と資料調査などから，県北沿岸周辺の野鳥は，17 目 50 科 207 種が記録された (附表 1)。このうち 3 年間の本調査期間中に記録された鳥類は，14 目 34 科 109 種である (表 1)。県北地域は，県南地域のような湖沼がないため，カモ科の鳥類は沿岸の海上で多く確認された。また，本調査で観察された鳥類の割合をグループごとに整理すると，スズメ目やタカ目などの留鳥が 42.2% と最も多く，次いでカモメ類やアビ類などの冬鳥 (41.3%)，シギ・チドリ類などの旅鳥 (12.8%)，ミズナギドリ類などの夏鳥 (2.17%) となっている。1975 年 (昭和 50) の 5 月～7 月にかけて，河原子，高萩，磯原，平潟漁港などの県北地域の海岸

表 1. 茨城県北沿岸周辺で観察された鳥類の組成

No.	種 類	種 数	割合 (%)
1	カモ科	19	17.4
2	シギ・チドリ類	14	12.8
3	カモメ科	8	7.3
4	サギ類	7	6.4
5	カラス類	7	6.4
6	タカ類	6	5.5
7	ミズナギドリ科	4	3.7
8	カイツブリ科	4	3.7
9	ツグミ科	4	3.7
10	アビ科	4	3.7
11	ウ科	3	2.8
12	ウミスズメ科	3	2.8
13	キツツキ科	3	2.8
14	セキレイ科	3	2.8
15	その他	20	18.3
		109	100

で，餌不足や油汚染などにより，ハシボソミズナギドリの大量の死体が，1,000 羽以上海岸に打ち上げられたことがある。それ以降はこのような無残な状況は見られなくなった。

2001～2003 年の 2 月の冬期の県北沿岸域の海鳥の調査結果を附表 2 および図 2-4 に表した。

1. 2001 年の特記事項

本県沿岸の海鳥の生息状況は，親潮の南下の程度に影響されると言われている。つまり，2 月中旬以降，低温の親潮の南下の影響が高いときは，オットセイや海鳥などの北方系の生物が多く見られるという。2001 年 2 月下旬の調査では，36 種 2,223 羽の海鳥を確認した (附表 2)。この年，日本野鳥の会茨城支部の会員が，ほぼ同じ時期に本県の海岸全域で第 6 回冬の海鳥調査を実施し，41 種 19,233 羽を確認している (池野ほか，2001)。第 2 次総合調査の結果と比較してみると，冬期の海鳥は県北沿岸より，鹿島灘沿岸に多く渡来していることが分かる。

2. 2002 年の特記事項

2002 年 2 月中旬の調査では，36 種 7,702 羽をカウントした (附表 2)。特に C 区的那珂川河口周辺には，セグロカモメ，ウミウ，クロガモなどが多く見られ，4,572 羽をカウントした。また，大北川河口では，オオハクチョウ 3 羽を確認できた。池野ほか (2002) によると，本県沿岸全域で 42 種 25,170 羽の海鳥が記録されている。これは過去の記録と比較しても多く，特にカモメ類の増加と東海村沖のクロガモの激増が顕著だったようである。また，那珂川河口沖では，哺乳類

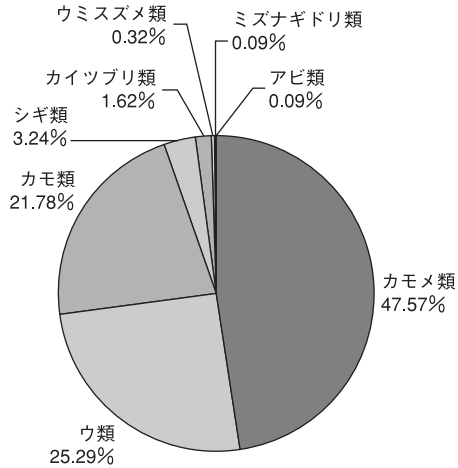


図 2. 2001 年 2 月に観察された県北沿岸域の海鳥の割合.

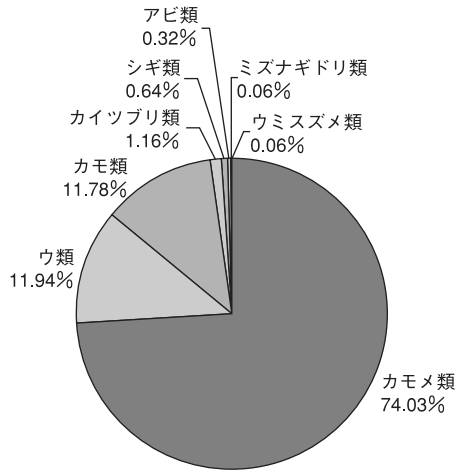


図 3. 2002 年 2 月に観察された県北沿岸域の海鳥の割合.

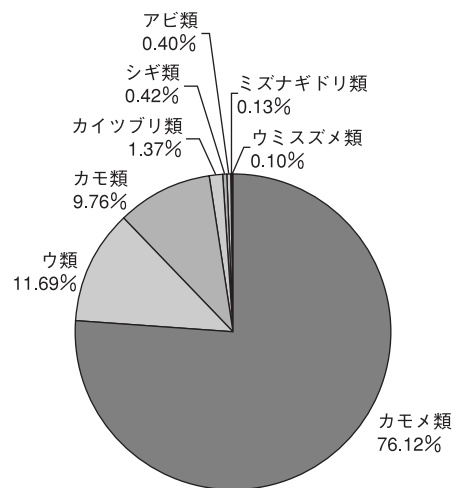


図 4. 2003 年 2 月に観察された県北沿岸域の海鳥の割合.

のスナメリが 3 頭見られた.

3. 2003 年の特記事項

2003 年 2 月下旬の調査で、39 種 7,663 羽をカウントした (付表 2). 特にカモメ類が 5,833 羽 (76.1%) と多く、次いでウ科の 896 羽 (11.7%), カモ科の 748 羽 (9.8%) が多かった (図 4). また、当日、本県初記録のコオリガモ 1 羽を確認したほか、珍鳥のコクガン、ウミアイサ、ケイマフリ、カンムリウミスズメなども確認できた. 県北地域は那珂川、久慈川、大北川などの大きな河川があり、河口域では淡水性と海水性の鳥類が見られるので、鳥類の観察地として最適であろう. 調査の折、海がしけて漁船がドックにある時や夕方は、河口域や港周辺がカモメ類やウ類などを観察するのに格好の場所であった.

引用文献

池野 進・秋田宏幸・明日香治彦・植竹 孝・植竹静江・大野晴一・方波見守一・信田金子・関根一広・瀬谷善和・武田久子・福田篤徳・益子 忍・益子芳江・益子美由希・森田幹夫・矢吹 勉・山崎純子・横須賀建志・栗田隼輔・栗田健史・2001. 「第 6 回冬の海鳥調査結果」 (2001. 2. 18 実施). 日本野鳥の会茨城支部報「ひばり」, (245): 6-7.

池野 進・秋田宏幸・明日香治彦・植竹 孝・植竹静江・大槻公彦・大野晴一・方波見守一・勝間信之・栗田健史・瀬谷善和・多田恒雄・馬場憲一・福田篤徳・益子 忍・益子芳江・森田幹夫・矢吹 勉・山崎純子・横須賀建志. 2002. 「第 7 回冬の海鳥調査結果」- 東海村沖にクロガモの大群 - 日本野鳥の会茨城支部報「ひばり」, (251): 22-23.

日本鳥類目録編集委員会 (編). 2000. 日本鳥類目録 (改訂第 6 版). 345 pp., 日本鳥学会.

日本野鳥の会 (編). 1965-1969. 茨城支部報, (1)-(28).

日本野鳥の会 (編). 1970-2003. ひばり, (29)-(252).

山口萬壽美. 1973. 県北の野鳥. 会誌, (24): 77-83, 茨城県高等学校教育研究会生物部.

山口萬壽美. 1992. ひたち海浜公園周辺の野鳥. 茨城の生物 平成 4 年版 (第 3 集). pp. 243-245, 茨城県高等学校教育研究会生物部.

山口萬壽美・鈴木積穂. 1991. 鳥綱 (Class Aves). 高萩の動物. pp. 39-81, 高萩市.

参考文献

Harison, P. 1996. SEABIRDS-an indentification guide. pp.

- 46-61, Christopher Helm, London.
- Hayman, P., J. Marchant & T. Prater. 1986. SHORE-BIRDS. 412 pp., Christopher Helm London.
- 桐原政志・五百沢日丸. 2000. 日本の鳥 550 -水辺の鳥. 351 pp., 文一総合出版, 東京.
- 真木広造. 2000. 日本の野鳥 590. 654 pp., 平凡社, 東京.
- 高野伸二. 1982. フィールドガイド 日本の野鳥. 342 pp., 日本野鳥の会, 東京.
- 氏原巨雄・氏原道昭. 1992. BIRDER スペシャルカモメ識別ガイド. 79 pp., 文一総合出版, 東京.
- 山縣則男・吉野俊幸. 2000. 日本の鳥 550 -山野の鳥. 359 pp., 文一総合出版, 東京.

調査研究および執筆

山口萬壽美 (日本鳥類保護連盟専門委員・茨城県支部長)

付表 1. 茨城県北沿岸域周辺の野鳥リスト

No.	目	科	和名	学名	調査年度	2000			2001			2002			渡りの区分※1	参考資料※2		
					調査値	A	B	C	A	B	C	A	B	C		1	2	3
1	アビ	アビ	アビ	<i>Gavia stellata</i> (Pontoppidan)										W	1	2	3	
2			オオハム	<i>Gavia arctica</i> (Linnaeus)					○			○		W, UC	1	2	3	
3			シロエリオオハム	<i>Gavia pacifica</i> (Rawrence)	○				○	○	○	○	○	W, UC		2	3	
4			ハシジロアビ	<i>Gavia adamsii</i> (Gray)							○	○		W, UC		2	3	
5	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	<i>Tachybaptus ruficollis</i> (Pallas)			○					○	○	R	1	2	3	
6			ハジロカイツブリ	<i>Podiceps nigricollis</i> Brehm		○	○							W	1	2	3	
7			ミミカイツブリ	<i>Podiceps auritus</i> (Linnaeus)										W, UC	1	2	3	
8			アカエリカイツブリ	<i>Podiceps griseogen</i> (Boddaert)					○		○	○		W, UC		2	3	
9			カンムリカイツブリ	<i>Podiceps cristatus</i> (Linnaeus)	○				○		○	○		W		2	3	
10	ミズナギドリ	アホウドリ	コアホウドリ	<i>Diomedea immutabilis</i> Rothschild									○	St	1	2	3	
11			クロアシアホウドリ	<i>Diomedea nigripes</i> Audubon										St, UC		2	3	
12		ミズナギドリ	フルマカモメ	<i>Fuimarus glacialis</i> (Linnaeus)	○								○	St		2	3	
13			シロハラミズナギドリ	<i>Pterodroma hypoleuca</i> (Salvin)										S, UC		2	3	
14			オオミズナギドリ	<i>Calonectris leucomeras</i> (Temminck)	○				○		○			S	1	2	3	
15			オナガミズナギドリ	<i>Puffinus pacificus</i> (Gmelin)										S, UC		2	3	
16			アカアシミズナギドリ	<i>Puffinus carneipes</i> Gould										T, UC	1	2	3	
17			ハイイロミズナギドリ	<i>Puffinus griseus</i> (Gmelin)										T		2	3	
18			ハシボソミズナギドリ	<i>Puffinus tenuirostris</i> (Temminck)	○				○			○	○	T	1	2	3	
19	ペリカン	ウ	カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i> (Linnaeus)	○		○		○		○	○	○	R	1	2	3	
20			ウミウ	<i>Phalacrocorax capilltus</i> (Temminck)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	R		2	3	
21			ヒメウ	<i>Phalacrocorax pelagicus</i> Pallas	○				○			○	○	W		2	3	
22		ゲンカンドリ	コゲンカンドリ	<i>Fregata ariel</i> (Gray)										St, UC		2	3	
23	コウノトリ	サギ	ゴイサギ	<i>Nycticorax nycticorax</i> (Linnaeus)	○				○					R	1	2	3	
24			ササゴイ	<i>Butorides storiatus</i> (Linnaeus)					○			○		S		2	3	
25			アマサギ	<i>Bubulcus ibis</i> (Linnaeus)	○				○	○		○		S		2	3	
26			ダイサギ	<i>Egretta alba</i> (Linnaeus)	○		○	○	○			○	○	R	1	2	3	
27			チュウサギ	<i>Egretta intermedia</i> (Wagler)										S	1	2	3	
28			コサギ	<i>Egretta garzetta</i> (Linnaeus)	○		○	○	○	○	○	○	○	R	1	2	3	
29			クロサギ	<i>Egretta sacra</i> (Gmelin)	○	○	○					○		R, UC		2	3	
30			アオサギ	<i>Ardea cinerea</i> Linnaeus	○		○	○			○	○		R	1	2	3	
31	カモ	カモ	コクガン	<i>Branta bernicla</i> (Linnaeus)									○	W, UC	1	2	3	
32			マガン	<i>Anser albifrons</i> (Scopoli)										W	1	2	3	
33			オオハクチョウ	<i>Cygnus cygnus</i> (Linnaeus)					○			○		W	1	2	3	
34			マガモ	<i>Anas platyrhynchos</i> Linnaeus	○	○	○	○	○	○	○	○	○	W	1	2	3	
35			カルガモ	<i>Anas poecilorhyncha</i> Forster	○	○	○	○	○	○	○	○	○	R		2	3	
36			コガモ	<i>Anas crecca</i> Linnaeus	○	○	○	○	○	○	○	○	○	W		2	3	
37			ヨシガモ	<i>Anas falcata</i> Georgi		○			○				○	W		2	3	
38			オカヨシガモ	<i>Anas streper</i> Linnaeus		○			○	○		○	○	W		2	3	
39			ヒドリガモ	<i>Anas penelope</i> Linnaeus				○		○		○	○	W		2	3	
40			オナガガモ	<i>Anas acuta</i> (Linnaeus)				○	○			○	○	W		2	3	
41			ホシハジロ	<i>Aythya ferina</i> (Linnaeus)				○		○				W		2	3	
42			キンクロハジロ	<i>Aythya fuligula</i> (Linnaeus)				○				○		W		2	3	
43			スズガモ	<i>Aythya marila</i> (Linnaeus)				○						W		2	3	
44			クロガモ	<i>Melanitta nigra</i> (Linnaeus)				○		○	○	○	○	W	1	2	3	
45			ビロードキンクロ	<i>Melanitta fusca</i> (Linnaeus)	○				○					W	1	2	3	
46			アラナミキンクロ	<i>Melanitta perspicillata</i> (Linnaeus)										W, UC		2	3	
47			シノリガモ	<i>Histrionicus histrionicus</i> (Linnaeus)	○	○	○	○		○	○		○	St	1	2	3	
48			コオリガモ	<i>Clangula hyemalis</i> (Linnaeus)										○	W, UC		3	
49			ホオジロガモ	<i>Bucephala clangula</i> (Linnaeus)		○						○		W		2	3	
50			ウミアイサ	<i>Mergus serrator</i> Linnaeus				○			○		○	W	1	2	3	
51			カワアイサ	<i>Meegus merganser</i> (Linnaeus)									○	○	W		2	3
52	タカ	タカ	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i> (Linnaeus)	○								○	○	W		2	3
53			ハチクマ	<i>Pernis apivorus</i> (Linnaeus)										S, UC		2	3	
54			トビ	<i>Milvus migrans</i> (Boddart)	○		○	○		○	○	○	○	R	1	2	3	
55			オオタカ	<i>Accipiter gentiris</i> (Linnaeus)			○					○		R		2	3	
56			ハイタカ	<i>Accipiter nisus</i> (Linnaeus)										R		2	3	
57			ノスリ	<i>Buteo buteo</i> (Linnaeus)			○						○	R		2	3	
58			サシバ	<i>Butastur indicus</i> (Gmelin)										S		2	3	
59			チュウヒ	<i>Circus spilonotus</i> Kaup										W		2	3	
60		ハヤブサ	ハヤブサ	<i>Falco peregrinus</i> (Tunstall)	○				○			○		R	1	2	3	
61			チョウゲンボウ	<i>Falco tinnunculus</i> Linnaeus			○			○		○	○	R	1	2	3	
62	キジ	キジ	ウズラ	<i>Coturnix japonica</i> (Temminck)										R		2	3	
63			コジュケイ	<i>Banbuicola thoracica</i> (Temminck)										R		2	3	
64			キジ	<i>Phasianus colchicus</i> (Linnaeus)			○			○		○	○	R		2	3	
65	チドリ	クイナ	クイナ	<i>Rallus aquatius</i> (Linnaeus)										W		2	3	
66			ヒクイナ	<i>Porzana fusca</i> (Linnaeus)										S, UC		2	3	
67			バン	<i>Gallinula chloropus</i> (Linnaeus)										R		2	3	
68			オオバン	<i>Fulica atra</i> (Linnaeus)					○				○	R		2	3	
69		タマシギ	タマシギ	<i>Rostratula benghalensis</i> (Linnaeus)										S, UC		2	3	
70		ミヤコドリ	ミヤコドリ	<i>Haematopus ostralegus</i> Linnaeus										W		2	3	
71		チドリ	ハジロコチドリ	<i>Charadrius hiaticuta</i> Linnaeus										T, UC		2	3	
72			コチドリ	<i>Charadrius dubius</i> Scopoli	○				○				○	S		2	3	
73			イカルチドリ	<i>Charadrius placidus</i> J. E. Gray				○					○	R		2	3	

(続く)

動物

(付表1. 続き)

No.	目	科	和名	学名	調査年度 調査値	2000			2001			2002			渡りの 区分※1	参考資料※2		
						A	B	C	A	B	C	A	B	C		1	2	3
74			シロチドリ	<i>Charadrius alexandrius</i> Linnaeus		○					○			R		2	3	
75			メダイチドリ	<i>Charadrius mongolus</i> Pallas				○						T		2	3	
76			ムナグロ	<i>Pluvialis fulva</i> (Gmelin)										T		2	3	
77			ダイゼン	<i>Pluvialis squatarola</i> (Linnaeus)										T		2	3	
78			タゲリ	<i>Vanellus vanellus</i> (Linnaeus)										W		2	3	
79		シギ	キョウジョシギ	<i>Arenaria interpres</i> (Linnaeus)			○			○				T	1	2	3	
80			トウネン	<i>Calidris ruficollis</i> (Pallas)						○				T		2	3	
81			ヒバリシギ	<i>Caridoris subminita</i> (Middendorff)										T, UC			3	
82			オジロトウネン	<i>Calidris temminckii</i> (Leisler)										T, UC		2	3	
83			ハマシギ	<i>Calidris alpina</i> (Linnaeus)		○				○				W		2	3	
84			コオバシギ	<i>Calidris canutus</i> (Linnaeus)				○		○			○	T, UC		2	3	
85			オバシギ	<i>Calidris tenuirostris</i> (Horsfield)						○				T		2	3	
86			ミユビシギ	<i>Calidris alba</i> (Pallas)		○	○	○			○		○	T	1	2	3	
87			ヘラシギ	<i>Eurynorhynchus pygmaeus</i> (Linnaeus)										T, UC		2	3	
88			エリマキシギ	<i>Philomachus pugnax</i> (Linnaeus)										T, UC			3	
89			オオハシシギ	<i>Limnodromus scolopaceus</i> (Say)										T		2	3	
90			ツルシギ	<i>Tringa erythropus</i> (Pallas)										T		2	3	
91			アオアシシギ	<i>Tringa nebularia</i> (Gunnors)				○		○				T, W			3	
92			コキアシシギ	<i>Tringa flavipes</i> (Gmelin)										T			3	
93			クサシギ	<i>Tringa ochropus</i> Linnaeus										T, UC			3	
94			タカブシギ	<i>Tringa glareola</i> Linnaeus										T		2	3	
95			キアシシギ	<i>Heteroscelus brevipes</i> (Vieillot)			○			○				T	1	2	3	
96			イソシギ	<i>Actitis hypoleucos</i> (Linnaeus)		○		○		○	○		○	R	1	2	3	
97			ソリハシシギ	<i>Xenus cinereus</i> (Guldenstadt)										T		2	3	
98			オグロシギ	<i>Limosa limosa</i> (Linnaeus)										T			3	
99			オオソリハシシギ	<i>Limosa lapponica</i> (Linnaeus)										T		2	3	
100			ダイシャクシギ	<i>Numenius arquata</i> (Linnaeus)						○				T		2	3	
101			チュウシャクシギ	<i>Numenius phaeopus</i> (Linnaeus)										T	1	2	3	
102			コシャクシギ	<i>Numenius minutus</i> Gould										St		2	3	
103			ヤマシギ	<i>Scolopax rusticola</i> Linnaeus										W		2	3	
104			タシギ	<i>Gallinago gallinago</i> (Linnaeus)										R		2	3	
105			オオジシギ	<i>Gallinago hardwickii</i> (Gray)										S, UC		2	3	
106		セイタカシギ	セイタカシギ	<i>Himantopus himantopus</i> (Linnaeus)										T, UC			3	
107		ヒレアシシギ	アカエリヒレアシシギ	<i>Phalaropus lobatus</i> (Linnaeus)										T, UC		2	3	
108		カモメ	ユリカモメ	<i>Larus ridibundus</i> Linnaeus		○	○	○	○	○	○	○	○	W	1	2	3	
109			ボナバルトカモメ	<i>Larus philadelphia</i> Bonaparte										St, UC			3	
110			セグロカモメ	<i>Larus argentatus</i> Pontoppidan		○	○	○	○	○	○	○	○	W	1	2	3	
111			オオセグロカモメ	<i>Larus schistisagus</i> Stejneger		○	○	○		○	○	○	○	W	1	2	3	
112			ワシカモメ	<i>Larus glaucescens</i> Naumann				○						W		2	3	
113			シロカモメ	<i>Larus hyperboreus</i> Gunnerus		○			○		○	○	○	W		2	3	
114			カモメ	<i>Larus camus</i> Linnaeus		○	○							W	1		3	
115			ウミネコ	<i>Larus crassirostris</i> Vieillot		○	○	○	○	○	○	○	○	R	1	2	3	
116			ミツユビカモメ	<i>Rissa tridactyla</i> (Linnaeus)										W		2	3	
117			アジサシ	<i>Sterna hirundo</i> Linnaeus										T		2	3	
118			コアジサシ	<i>Sterna albifrons</i> Pallas		○			○					S	1	2	3	
119		ウミガラス	ウミガラス	<i>Uria aalge</i> (Pontoppidan)										W		2	3	
120			ハシブトウミガラス	<i>Uria lomvia</i> (Linnaeus)										W	1	2	3	
121		ウミスズメ	ウミバト	<i>Cephus columba</i> Pallas										St, UC			3	
122			ケイマフリ	<i>Cephus carbo</i> Pallas						○			○	R		2	3	
123			マダラウミスズメ	<i>Brachyramphus marmoratus</i> (Gmelin)										W, UC		2	3	
124			ウミスズメ	<i>Synthliboramphus antiquus</i> (Gmelin)										W	1	2	3	
125			カンムリウミスズメ	<i>Synthliboramphus wumizusume</i> (Temminck)		○	○	○	○	○	○	○	○	R	1		3	
126			エトロフウミスズメ	<i>Aethia cristatella</i> (Pallas)										W, UC		2	3	
127			コウミスズメ	<i>Aethia pusilla</i> (Pallas)										W, UC		2	3	
128			ウミオウム	<i>Aethia psittacula</i> (Pallas)										St, UC			3	
129			ウトウ	<i>Cerorhinca monocerata</i> (Pallas)				○						W			3	
130			ツノメドリ	<i>Fratercula corniculata</i> (Naumann)										St, UC		2		
131	ハト	サケイ	サケイ	<i>Syrhaptes paradoxus</i> (Pallas)										St, UC		2	3	
132		ハト	キジバト	<i>Sreptopelia orientalis</i> (Latham)		○	○	○	○	○	○	○	○	R		2	3	
133	カッコウ	カッコウ	ジュウイチ	<i>Cuculus fugax</i> Horsfield										S		2	3	
134			カッコウ	<i>Cuculus canorus</i> Linnaeus										S, UC		2	3	
135			ツツドリ	<i>Cuculus saturatus</i> Blyth										S		2	3	
136			ホトトギス	<i>Cuculus poliocephalus</i> Latham										S		2	3	
137	フクロウ	フクロウ	コミミズク	<i>Asio flammeus</i> (Pontoppidan)										W, UC		2	3	
138			オオコノハズク	<i>Otus lempiji</i> (Horsfield)										R		2	3	
139			アオバズク	<i>Ninox scutulata</i> (Raffles)										S		2	3	
140			フクロウ	<i>Strix uralensis</i> Pallas										S		2	3	
141	ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ	<i>Caprimulgus indicus</i> Latham										S		2	3	
142	アマツバメ	アマツバメ	ヒメアマツバメ	<i>Apus affinis</i> (Gray)					○				○	R, UC			3	
143			アマツバメ	<i>Apus Pacificus</i> (Latham)									○	S		2	3	
144	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	<i>Aicede athis</i> (Linnaeus)						○			○	R		2	3	
145		ヤツガシラ	ヤツガシラ	<i>Upupa epops</i> (Linnaeus)									○	St, UC			3	
146	キキツキ	キキツキ	アリスイ	<i>Jynx torquilla</i> Linnaeus										R, W		2	3	

(続く)

茨城県北沿岸域周辺の鳥類

(付表1. 続き)

No.	目	科	和名	学名	調査年度	2000			2001			2002			渡りの区分※1	参考資料※2		
					調査値	A	B	C	A	B	C	A	B	C		1	2	3
147			アオゲラ	<i>Picus avokera</i> Temminck									○	○	R			3
148			アカゲラ	<i>Dendrocopos major</i> (Linnaeus)									○	○	R			3
149			コゲラ	<i>Dendrocopos kizuki</i> (Temminck)									○	○	R		2	3
150	スズメ	ヒバリ	ヒバリ	<i>Alauda arvensis</i> Linnaeus											R	1	2	3
151		ツバメ	ツバメ	<i>Hirundo rustica</i> Linnaeus			○			○				○	R		2	3
152			コシアカツバメ	<i>Hirundo daurica</i> Linnaeus											S		2	3
153			ショウドウツバメ	<i>Riparia riparia</i> (Linnaeus)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	T		2	3
154			イワツバメ	<i>Delichon urbica</i> (Linnaeus)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	S		2	3
155		セキレイ	キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i> Tunstall											R		2	3
156			ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i> Linnaeus		○	○	○	○	○	○	○	○	○	R	1	2	3
157			セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i> Sharpe		○				○					R	1	2	3
158			ビンズイ	<i>Anthus hodgsoni</i> Richmond											W		2	3
159			タバタチ	<i>Anthus spinoletta</i> (Linnaeus)		○			○		○				W			3
160		サンショウクイ	サンショウクイ	<i>Pericrocotus divaricatus</i> (Raffles)											S		2	3
161		ヒヨドリ	シロガシラ	<i>Pycnonotus sinentus</i> (Gmelin)											R, UC		2	
162			ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i> (Temminck)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	R		2	3
163		モズ	モズ	<i>Lanius bucephalus</i> Temminck & Schlegel			○							○	R		2	3
164			アカモズ	<i>Lanius cristatus</i> Linnaeus											S		2	3
165		レンジャク	キレンジャク	<i>Bombicilla japonica</i> (Siebold)											W		2	3
166		ミソサザイ	ミソサザイ	<i>Troglodytes troglodytes</i> (Linnaeus)											R		2	3
167		ツグミ	ジョウビタキ	<i>Phoenicurus aureus</i> (Pallas)		○		○	○		○	○		○	W		2	3
168			イトヒヨドリ	<i>Monticola solitarius</i> (Linnaeus)		○	○	○	○	○			○		R	1	2	3
169			マミジロ	<i>Turdus sibiricus</i> Pallas							○				S, UC			3
170			アカハラ	<i>Turdus chrysolus</i> Temminck											R		2	3
171			シロハラ	<i>Turdus pallidus</i> Gmelin											W		2	3
172			マミチャジナイ	<i>Turdus obscurus</i> Gmelin											T		2	3
173			ツグミ	<i>Turdus naumanni</i> Temminck		○	○	○	○	○	○	○	○	○	W		2	3
174		ウグイス	ウグイス	<i>Cettia diphone</i> (Kittlitz)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	R		2	3
175			コヨシキリ	<i>Acrocephalus bistrigiceps</i> Swinhoe						○					S		2	3
176			オオヨシキリ	<i>Acrocephalus arundinaceus</i> (Linnaeus)		○				○					S		2	3
177			メボソムシクイ	<i>Phylloscopus borealis</i> (Blasius)											S		2	3
178			センダイムシクイ	<i>Phylloscopus coronatus</i> (Temminck & Schlegel)											S		2	
179			クイタダキ	<i>Regulus regulus</i> (Linnaeus)											W		2	3
180			セッカ	<i>Cisticola juncidis</i> (Rafinesque)		○				○					R		2	3
181		ヒタキ	エゾビタキ	<i>Muscicapa griseisticta</i> (Swinhoe)											T		2	3
182			カササギヒタキ	<i>Terpsiphone atrocaudata</i> (Eyton)											S		2	3
183		エナガ	エナガ	<i>Aegithalos caudatus</i> (Linnaeus)											R		2	3
184		シジュウカラ	ヒガラ	<i>Parus ater</i> Linnaeus											R		2	3
185			シジュウカラ	<i>Parus major</i> Linnaeus		○								○	R		2	3
186		メジロ	メジロ	<i>Zosterops japonicus</i> Temminck & Schlegel										○	R		2	3
187		ホオジロ	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i> Brandt				○		○					R		2	3
188		アトリ	アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i> Linnaeus											W		2	3
189			カワラヒワ	<i>Carduelis sinica</i> (Linnaeus)		○	○	○	○		○	○		○	W	1	2	3
190			マヒワ	<i>Carduelis spinus</i> (Linnaeus)											W		2	3
191			ベニヒワ	<i>Carduelis flammea</i> (Linnaeus)											W		2	3
192			ハギマシコ	<i>Leucosticte arctoa</i> (Pallas)											W, UC	1	2	3
193			イスカ	<i>Loxia curvirostra</i> Linnaeus											W, UC		2	3
194			ベニマシコ	<i>Uragus sibiricus</i> (Pallas)											W		2	3
195			ウソ	<i>Pyrrhula pyrrhula</i> (Linnaeus)											W		2	3
196			コイカル	<i>Eophona migratoria</i> Hartert											W, UC		2	3
197			イカル	<i>Eophona personata</i> (Temminck & Schlegel)											W		2	3
198			シメ	<i>Coccothraustes coccothraustes</i> (Linnaeus)											W		2	3
199		ハタオリドリ	スズメ	<i>Passer montanus</i> (Linnaeus)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	R	1	2	3
200			ムクドリ	<i>Sturnus philippensis</i> (Forster)											S		2	3
201			ムクドリ	<i>Sturnus cineraceus</i> Temminck		○	○	○	○	○	○	○	○	○	R	1	2	3
202		カラス	カケス	<i>Garrulus glandarius</i> (Linnaeus)			○						○	○	R			
203			オナガ	<i>Cyanopica cyana</i> (Pallas)		○	○	○							R		2	3
204			コクマルガラス	<i>Corvus dauricus</i> Pallas						○			○		W			3
205			ミヤマガラス	<i>Corvus frugilegus</i> Linnaeus						○			○		W			3
206			ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i> Linnaeus		○	○	○	○	○	○	○	○	○	R	1	2	3
207			ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i> Wagler		○	○	○	○	○	○	○	○	○	R	1	2	3
合 計						46	33	52	46	42	48	46	43	63		50	163	203

合計：17目50科207種

※1 渡りの区分

- R : 留鳥 - 60 (29.0%)
- S : 夏鳥 - 31 (15.0%)
- W : 冬鳥 - 70 (33.8%)
- T : 旅鳥 - 34 (16.4%)
- St : 迷鳥 - 12 (5.8%)
- UC : 希少種 - 44 (21.3%)

※2 参考資料

- 1 山口萬壽美・鈴木積穂 (1991)
- 2 山口萬壽美 (1992)
- 3 日本野鳥の会「茨城支部報」No. 1-28 (1965-1969), 日本野鳥の会「ひばり」No. 29-252 (1970-2003)

※3 学名は、日本鳥類目録編集委員会(編)(2000)に従った。

動 物

付表 2. 冬期の県北沿岸域の海鳥.

No.		2000 年度				2001 年度				2002 年度			
		A	B	C	計	A	B	C	計	A	B	C	計
1	オオハム					1			1	1			1
2	シロエリオオハム	1	1		2	2	4		6		1	1	2
3	ハシジロアビ					13	2	3	18	14	6	8	28
4	カイツブリ			3	3	78	3	2	83	21	16	30	67
5	ハジロカイツブリ	8	4	7	19								
6	アカエリカイツブリ					3		1	4	4			4
7	カンカムリカイツブリ	7	3	4	14	1		1	2	10	8	16	34
8	コアホウドリ											5	5
9	フルマカモメ	1			1			1	1			2	2
10	オオミズナキドリ	1			1	1	3		4	3			3
11	カワウ	4	6	15	25	3	4	21	28	4	8	11	23
12	ウミウ	70	111	315	496	78	205	580	863	60	270	512	842
13	ヒメウ	7	35		42	10	17	2	29	25	6		31
14	コクガン											1	1
15	オオハクチョウ					3			3	4			4
16	マガモ	4	8	6	18	1	10	1	12	28	9	17	54
17	カルガモ	45	90	8	143	37	4	96	137	37	6	8	51
18	コガモ	7	8		15	1		1	2				
19	ヨシガモ		2		2		1		1			8	8
20	オカヨシガモ		14		14	1	1		2		9	16	25
21	ヒドリガモ		10	17	27		14	65	79		8	21	29
22	オナガガモ			18	18	1			1		7	4	11
23	ホシハジロ			21	21		1		1				
24	キンクロハジロ			4	4			1	1				
25	スズガモ	8	7	14	29			23	23			16	16
26	クロガモ	41		70	111		81	403	484	151	110	182	443
27	ビロードキンクロ	15	21	8	44	1	43	71	115	35	21		56
28	シノリガモ	14	4	13	31	28	6	9	43	31		8	39
29	コオリガモ											1	1
30	ホオジロガモ		4		4					2			2
31	ウミアイサ			3	3			3	3			3	3
32	カワアイサ										3	2	5
33	ハマシギ	4			4		1	36	37			1	1
34	ミュビシギ	15	21	32	68		4	8	12			31	31
35	ユリカモメ	14	73	43	130	25	1	21	47	25	32	56	113
36	セグロカモメ	86	123	73	282	996	56	2,823	3,875	940	281	21	1,242
37	オオセグロカモメ	32		14	46	106	34	53	193	104	26	63	193
38	ワシカモメ			2	2								
39	シロカモメ	3			3	2		3	5	2		2	4
40	カモメ	8	3		11	6	5	5	16	2			2
41	ウミネコ	171	93	311	575	713	514	338	1,565	1,386	1,264	1,623	4,273
42	コアジサシ	8			8	1			1	6			6
43	ケイマフリ					1		1	2			1	1
44	カンムリウミスズメ	2		4	6	1	2		3	3	2	2	7
45	ウトウ			1	1								
合計		576	641	1,006	2,223	2,114	1,016	4,572	7,702	2,898	2,093	2,672	7,663